

新!あきない☆会計塾

~会計で中小企業を元気にする~ [第2講]

ひょうご税理士法人
(認定経営革新等支援機関)
公認会計士/税理士
URL <http://senoo.net/>

せのお よしろう
妹尾 芳郎



皆さんこんにちは。雨風の強い日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。九州地方の記録的大雨による甚大な災害には、連日心が痛む思いです。被害に遭われた方には心よりお見舞いを申し上げますとともに、一刻も早く安心できるように祈っております。

本講では、第1講の『あきない会計図』を使いながら、『経常利益を増やすための4つの要素』について見ていきたいと思ひます。

1. 経常利益を増やすための4つの要素

図1:あきない会計6要素

あきない会計6要素		経常利益を増やす要素
P	Price(売上単価)	◎
Q	Quantity(売上数量)	◎
V	Variable Cost(変動費)	◎
F	Fixed Cost(固定費)	◎
M	Margin(粗利益)	—
G	Gain(経常利益)	—

『あきない会計図』上では図1の『あきない会計6要素』のうち、

P(売上単価)、Q(売上数量)、V(変動費)、F(固定費)

の4つが、『経常利益を増やすための4つの要素』です。

【例】~とあるたこ焼き屋 タコ山・田古(タコ)社長のお店の場合~

タコ焼き : 1箱500円で販売

材料仕入れ : 1箱につき150円

1月の販売数 : 2,000箱

⇒田古社長のお店では……

P(売上単価)=500円、V(変動費)=150円、Q(売上数量)=2,000箱となります。

☆PとVにQを乗じれば、下の図2の『あきない会計図(月次ベース)』の売上高と仕入れ高が分かります。

図2:あきない会計図(月次ベース)

単位:万円

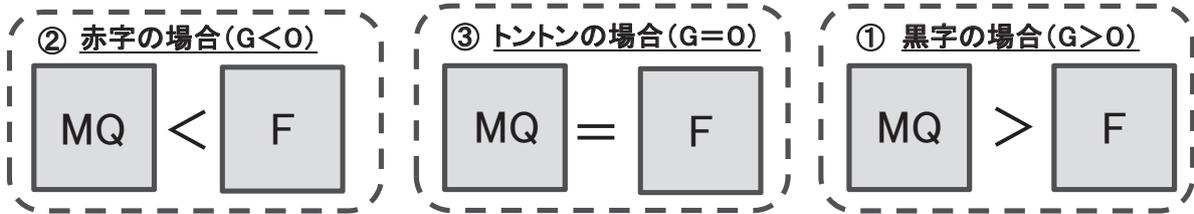
PQ:売上 P(500円)×Q(2,000個) (売上高) 100	VQ:変動費(材料仕入) V(150円)×Q(2,000箱) 30	
	MQ:粗利益 (売上-変動費) 70	F:固定費 (人件費、支払利息など) 35
		G:経常利益 (粗利益-固定費) 35

☆同時に、MQ(粗利益)の70万円も把握することができます。

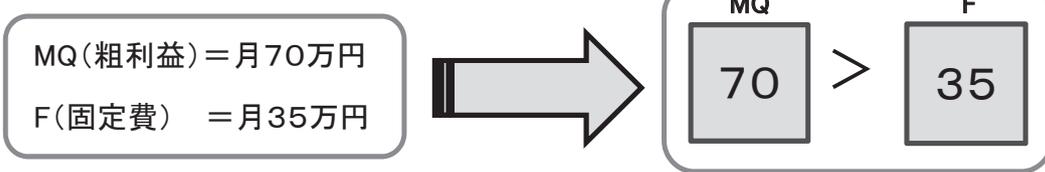
このMQを原資に人件費などのF(固定費)を払っていき、MQ(粗利益)からF(固定費)を差し引いた金額が、G(経常利益)となります。P・Q・V・Fの4要素がG(経常利益)を構成することを知っておきましょう!

2. 経常利益は、粗利益と固定費のバランスで決まります

G(経常利益)を出すために重要なポイントは、
MQ(粗利益)とF(固定費)のバランス(MQ-F=G)です。図にすると以下のようになります。



⇒図2の田古社長のお店で考えると……



※仮に田古社長のお店のMQ(粗利益)が月35万円未満の場合には赤字になります。

☆このように、G(経常利益)は、MQ(粗利益)とF(固定費)のバランスで決まります。
 PQ(売上)を増やせばG(経常利益)が増えると思われがちですが、必ずしもPQ(売上)とG(経常利益)に相関関係があるわけではありません。
 G(経常利益)を出すためには、まずは自社のMQ(粗利益)とF(固定費)の関係を把握しましょう。

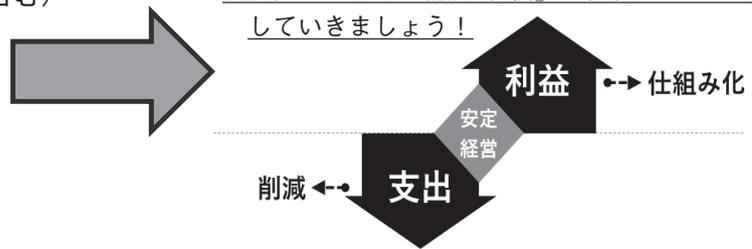
～アフターコロナでは～

F(固定費)を削減することがG(経常利益)を出す近道です。

例えば……

- コピー機、複合機(リース代・印刷代含む)
- 固定電話、携帯電話
- ダンボール
- 車両交通費(ETC)
- 損害保険
- 電気代
- 家賃

☆見直すことで、『安定経営』の仕組みづくりをしていきましょう!



新! あきない☆会計塾～会計で中小企業を元気にする～ [第2講]

- G(経常利益)はP(売上単価)・Q(販売数量)・V(変動費)・F(固定費)の4要素からなります。
 - G(経常利益)はMQ(粗利益)とF(固定費)のバランスで決まります。
 - F(固定費)を削減することが、G(経常利益)を出す近道です。
- あなたの会社の『損益分岐点』を見直ししましょう。

後継者教育に★分かるまで帰れない会計塾★URL: <http://www.senoo.net/kaerenai.html>



新! あきない☆会計塾・固定費の削減に関するお問い合わせ 塩冶(えんや) enya@hyogo-houjin.or.jp